

国土交通省 | 天竜川上流河川事務所



**DATE:** 平成30年11月15日

国土交通省 天竜川上流河川事務所

1. 件名 「語りつぐ天竜川」の取り組みが土木学会から表彰されました。
2. 概要 天竜川上流河川事務所が昭和61年から発行している「語りつぐ天竜川」の取り組みが（公社）土木学会の主催する「土木広報大賞2018」で審査委員賞に選定され、平成30年11月12日（月）東京の土木学会にて表彰式が行われました。  
 ※全国から99件の応募が有り、中部地方整備局では唯一の受賞



3. 資料
  - ・土木広報大賞とは
  - ・土木広報大賞2018受賞一覧
  - ・土木広報大賞2018応募用紙
  - ・語りつぐ天竜川シリーズ一覧

4. 解 禁 指定なし

5. 同時配布 このお知らせは、伊那記者クラブ、飯田市役所記者クラブ、駒ヶ根市役所記者クラブに同時配布しています。

6. 問合せ先 国土交通省 中部地方整備局 天竜川上流河川事務所  
 事業対策官 菊池 五輪彦  
 調査課長 古瀬 友紀

TEL: 0265-81-6415

## 土木広報大賞とは

本賞は、日本全国の各地域で展開されている様々な広報のうち、暮らしを支えている土木の役割・意義・魅力について広報を行っている活動または作品などで他団体の模範となるもの、他団体への展開が期待されるものなどを取り上げ、顕彰することを目的として行うものです。

### 応募要件

- (1) 暮らしを支えている土木の役割・意義・魅力について行われた土木広報全般。
- (2) イベントについては主催、共催、協賛は問いません。ただし後援（協賛金等費用負担は含まず、名義使用の承認のみ）は含まないものとします。
- (3) 2016年4月1日～2018年3月31日までの2年間に行われた（発表された）土木広報を対象とします。

### 選考基準

選考にあたっては、下記の観点から総合的に評価するものとします。

- ・土木広報の方向性3つのキーワードが十分に発揮された活動
  - ①くらしと土木、②「伝える」から「伝わる」へ、③知りたくなる土木
- ・水平展開するのにふさわしい活動
- ・地域に根付いて地道に長く続いている活動
- ・参加者からの評価が高い活動（アンケート好評価多数、Facebook いいね!数等）
- ・産官学が連携している活動
- ・参加人数が少数であっても、マニア向け、異業種とのコラボなど企画として面白い活動

### 選考

各賞の選考は、土木広報大賞選考委員会の審議により厳正に行います。

選考委員会では、応募用紙の内容と付属資料について選考します。

### 選考委員会メンバー

選考委員長：田中里沙氏（事業構想大学院大学 学長）

選考委員：浅見 郁樹 氏（関東日本旅客鉄道）土木学会理事

（五十音順）石原 康弘 氏（国土交通省）土木広報センター次長

小松 淳 氏（日本工営㈱）土木広報センター次長

佐々木 葉 氏（早稲田大学）土木学会理事

三上 美絵 氏（フリーライター）

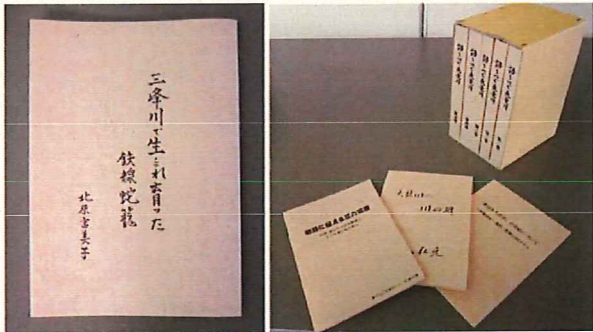
依田 照彦 氏（早稲田大学）土木広報センター長

渡辺 潤平 氏（コピーライター）

「土木広報大賞2018」受賞一覧

賞	広報名	団体名	所在地	団体種別
最優秀賞	どぼくカフェ	フォーラム・シビル・コスモス (FCC)	大阪府	土木学会支部
優秀賞	CON! CON! 富士山の体積をはかる「アイデア」大募集!	一般社団法人 静岡県建設コンサルタンツ協会	静岡県	業界団体
優秀賞	ワクワク土木土木 (ドキドキ) デミートマツの驚き土木体験イベント	噂の土木応援チーム デミートマツ	福岡県	その他団体
準優秀賞	ツタワルドボク	一般社団法人 ツタワルドボク	福岡県	業界団体
準優秀賞	やんばツアーズ	国土交通省 関東地方整備局 八ツ場ダム工事事務所	群馬県	国交省
準優秀賞	「ドボク模型」により土木をわかりやすく伝える広報活動	(株) 藤井基礎設計事務所	島根県	民間企業
準優秀賞	官民の壁を打ち破り、土木が地域の未来をつくる。「静岡どぼくらぶ」	静岡県	静岡県	地方自治体
準優秀賞	出島表門橋架橋プロジェクト広報活動「DEJIMA AGAIN」	DEJIMA BASE・NEY & PARTNERS JAPAN	長崎県 東京都	その他団体
審査員賞	土木系学生のためのコンクリートカヌー大会	公益社団法人 土木学会関東支部	東京都	土木学会支部
審査員賞	稲むらの火の舞台で世代を越えて伝わる津波防災への想い「広村堤防と津浪祭」	和歌山県広川町	和歌山県	地方自治体
審査員賞	土木技術者を目指す女性のための就職支援冊子「Civil Engineer への扉 2017年版」	一般社団法人土木技術者女性の会	東京都	業界団体
審査員賞	パンフレット「信州の土木 魅力のマップ」の発刊と活用の取り組み	土木・環境しなの技術支援センター	長野県	その他団体
審査員賞	語りつぐ天竜川	国土交通省 中部地方整備局 天竜川上流河川事務所	長野県	国交省
審査員賞	冊子『国道211号啓開の記録』	国土交通省 九州地方整備局 北九州国道事務所	福岡県	国交省
審査員賞	インフラツアープォイントガイド	国土交通省 東北地方整備局	宮城県	国交省
審査員賞	やまかわさとみ(山川里海)の新作狂言	やまかわさとみ事務所	愛知県	その他団体

「土木広報大賞 2018」応募用紙

団体名：国土交通省 中部地方整備局 天竜川上流河川事務所		
代表者氏名：事務所長 椎葉 秀作		所在地：長野県駒ヶ根市上穂南 7-10
担当者情報	氏名：古瀬 友紀	所属部署：調査課
	電話：0265-81-6415	E-mail：furuse-t85aa@mlit.go.jp
土木広報活動または作品名：語りつぐ天竜川		
<p>広報活動または作品の概要</p> <p>天竜川上流河川事務所では、天竜川のより良い川づくりを進めるにあたり、流域における災害・環境・歴史・文化などから地域の知見や経験を収集し、広く地域共有の知識とすることで、天竜川流域で行われている人の暮らしを考え守る土木の魅力を伝えることを目的として「語りつぐ天竜川」を発行しています。</p> <p>「語りつぐ天竜川」は、講演記録や一般の方・有識者などに執筆のご協力をいただき発行している A5 サイズの冊子であり、昭和 61 年より機会があるごとに発行し、バックナンバー全巻の PDF データを事務所のホームページでも公開しています。</p> <p>シリーズの最新刊（63 巻）である「三峰川で生まれ育った鉄線蛇籠」の発行（平成 29 年 12 月）にあたっては、職員自らが取材から編集、イラスト作成を手がけるなど新たな試みも行っています。</p>		
<div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>左：最新刊（63 巻） 「三峰川で生まれ育った鉄線蛇籠」 平成 29 年 12 月発行</p> <p>右：「語りつぐ天竜川」シリーズ</p> </div> </div>		
<p>広報活動の効果</p> <p>「語りつぐ天竜川シリーズ」は毎号、地元の図書館・資料館・学校等を中心に郵送し、残部は希望者に無料配布を行っています。</p> <p>新刊発行については、新聞や地元のフリーペーパー等のメディアにも取り上げられ、全国各地から配布希望の連絡が入るなど、「語りつぐ天竜川」は、天竜川に対する親しみや理解を深めていただくことに役立っています。いまでは、これまで発行した全巻をコレクションし最新刊を心待ちにしている熱狂的なファンの方もおり、タイトルのおり土木の力と魅力を「後世に語りつぐ」有効な広報ツールとなっていると思います。</p> <p>また、最新刊の「三峰川で生まれ育った鉄線蛇籠」については、暴れ三峰川の水害から人々を守ってきた水防技術の誕生秘話を本編の他に「ものがたり編」と「ワンコインでつくる中聖牛モデル」を加えてわかりやすくまとめているため、教育機関における防災教育での活用も期待しているところです。</p>		
付属資料の提出	<input checked="" type="checkbox"/> あり・ <input type="checkbox"/> なし（どちらかに印（ <input checked="" type="checkbox"/> ）を付けてください。）	

# 語りつぐ天竜川シリーズ一覧

巻	表 題	著 者	発行年	備 考
1	伊那谷の気象	米山啓一	昭和61年	
2	天竜川上流域の立地と災害	北澤秋司	昭和61年	
3	天竜川に於ける河川計画のあゆみ	鈴木徳行	昭和61年	
4	総合治水の思想	上条宏之	昭和61年	
5	総合治水と森林と	中野秀章	昭和61年	
6	伊久間地先に於ける天竜川の変遷	松澤 武	昭和61年	
7	天竜峡で見た天竜川水位の変遷	今村真直	昭和61年	
8	村境は不思議だ	平沢清人	昭和61年	
9	諏訪湖の富栄養化と生物群集の変遷	倉沢秀夫	昭和63年	
10	諏訪湖の御神渡し	米山啓一	昭和63年	
11	理兵衛堤防	下平元護	昭和63年	
12	近世 天竜川の治水－伊那郡松島村－	市川脩三	昭和63年	
13	川筋の変遷－天竜川と三峰川の場合－	唐沢和雄	昭和63年	
14	伊那谷山岳部の降雨特性	宮崎敏孝	昭和64年	
15	天竜川の橋	日下部新一	昭和64年	
16	伊東伝兵衛と伝兵衛五井	北原優美 編	昭和64年	
17	天竜川の魚や虫たち	橋爪寿門	昭和64年	
18	天竜川のホタル	勝野重美	昭和64年	
19	天竜川流域の村々	松澤 武	平成2年	
20	小渋川水系に生きる－人と水と土と木と－	中村寿人	平成2年	
21	ものがたり－理兵衛堤防－	森岡忠一	平成2年	
22	量地指南に見る 江戸時代中期の測量術	吉澤孝和	平成2年	
23	土木技術と生物工学－生き物を扱う技術－	亀山 章	平成2年	
24	戦国時代の天竜川	笹本正治	平成3年	
25	天竜川の水運	日下部新一	平成3年	
26	惣兵衛川除	市村咸人	平成3年	
27	紙芝居 開墾堤防－下伊那郡豊丘村伴野－	竹村浪の人	平成3年	
28	昭和36年伊那谷大水害の気象	奥田 穰	平成3年	
29	天竜川の淵伝説－「熊谷家伝記」を中心に－	笹本正治	平成4年	
30	天竜川の源流地帯	赤羽 篤	平成4年	
31	東天竜	三浦孝美・仁科英明	平成4年	
32	天竜河原の開発と石川除	塩沢仁治	平成4年	
33	伊那谷は生きている	松島信幸	平成4年	
34	天竜川の災害伝説	笹本正治	平成5年	
35	天竜川の災害年表	笹本正治	平成5年	
36	天竜川水運と樽木	村瀬典章	平成5年	
37	水辺の環境を守る	桜井善雄	平成5年	

38	諏訪湖－氾濫の社会史－	北原優美	平成5年	
39	河川工作物と魚類の生活	中村一雄	平成6年	
40	天竜川上流域の過疎問題	山口通之	平成6年	
41	資料が語る 天竜川大久保番所	松村義也	平成7年	
42	天竜川上流 川辺の植物と植生	関岡裕明	平成7年	
43	水理開発にみる中世諏訪の信仰と治水	藤森 明	平成8年	
44	横川山巡覧記－「辰野町資料第87号」より－	辰野町教育委員会編 赤羽 篤 校訂	平成8年	
45	天龍川の鳥たち	福与佐知子	平成9年	
46	遠山川流域の民俗とふるさとイメージの創造	浮葉正親	平成9年	
47	田切ものがたり	赤羽 篤	平成10年	
48	カエルと暮らして	山口祥子	平成10年	
49	伊那の冬の風物詩 ざざ虫	牧田 豊	平成11年	
50	みんなの三峰川を次世代に	三峰川みらい会議事務局編	平成11年	
51	三峰川ものがたり	三峰川みらい会議事務局水 チーム監修 北原優美 著	平成12年	
52	天竜川の水質－「泳げる諏訪湖・水遊びのできる天竜川」を目指して－	沖野外輝夫	平成12年	
53	天竜川の帰化植物たち	木下 進	平成13年	
54	中央構造線読み方案内－諏訪から大鹿村地蔵峠まで－	河本和朗	平成14年	
55	ふるさとの山駒ヶ岳ものがたり	赤羽 篤	平成14年	
56	近世信州伊那郡大河原村の自然環境と人間	松原輝男	平成15年	
57	地名を通して見る 天竜川と人々の暮らし	松崎岩夫	平成15年	
58	伊那谷の土砂動態	久津見生哲	平成16年	
59	－水位観測45年間の思い出－天竜川と生きて	下平長治	平成17年	
60	－明日に伝える三六災害－川路・龍江の水害体験と子供たちの取り組み	川路・龍江のみなさん	平成18年	
61	天竜川の川の碑	竹入弘元	平成20年	
62	東日本大震災の対応について ～初動対応～復旧・復興に向けて～	熊谷順子	平成24年	
63	三峰川で生まれ育った鉄線蛇籠	北原富美子	平成29年	